

2023年2月6日

清水建設株式会社
株式会社グルーヴノーツ
株式会社 GEOTRA

ビッグデータと量子コンピュータによる交通・防災・観光プラットフォームの開発に着手

清水建設株式会社（本社：東京都中央区、代表取締役社長：井上和幸、以下清水建設）と株式会社グルーヴノーツ（本社：福岡県福岡市、代表取締役社長：最首英裕、以下グルーヴノーツ）、株式会社 GEOTRA（本社：東京都千代田区、代表取締役社長：陣内寛大、以下GEOTRA）は、位置情報などのビッグデータと先端テクノロジーによるシミュレーション技術を掛け合わせて、交通・防災・観光の最適化を図るためのデータ分析プラットフォームの開発に着手しました。

近年、ビッグデータやデジタル技術を用いて、交通、防災、観光などの都市課題の解決を図るスマートシティへの期待が高まっています。交通分野では、人口減少や移動需要の変化に伴う公共交通網の再編ニーズがあり、防災分野では、大規模豪雨などの自然災害が益々甚大化する中、災害時に即時的かつ効率的に、復旧に向けた施策を実行する体制を整えることが急務となっています。また、観光分野では、コロナ禍からの回復に向け、観光地における賑わい創出や戦略的な観光施策の提言が求められています。

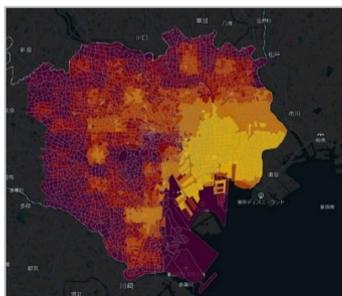
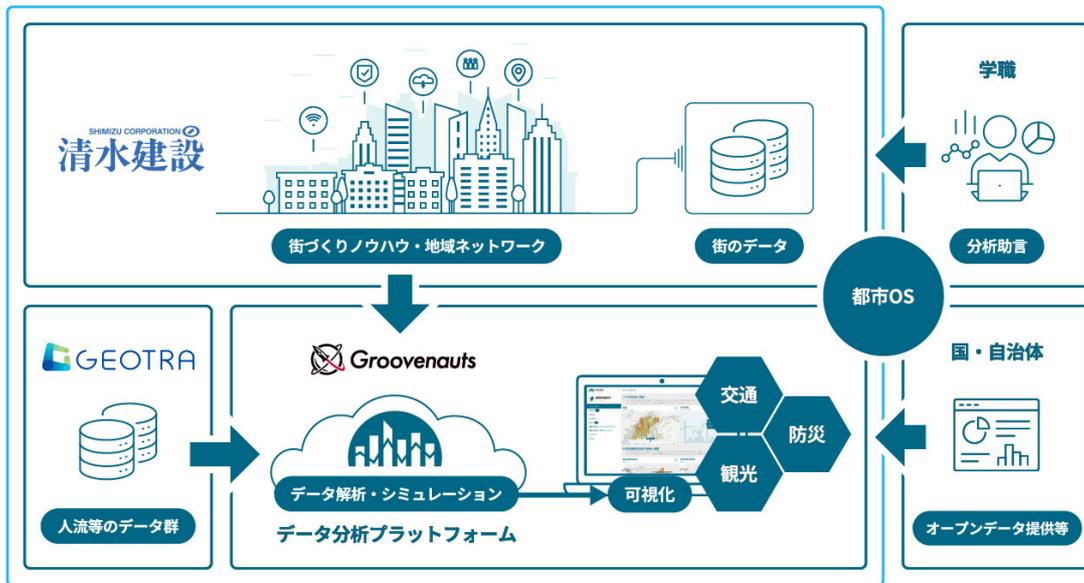
このようなニーズに対して、各分野を横断して分析できるプラットフォームを構築するためには、都市計画や開発に対する知見・ノウハウと、ビッグデータやシミュレーション技術に関する知見を高度に掛け合わせる必要があります。

清水建設は、都市計画から設計・施工、まちの運営サービスまで、自治体と連携したまちづくりを推進しています。その中で、まちづくりのノウハウや地域ネットワークを構築し、建物・街区レベルで収集したデータを保有しています。

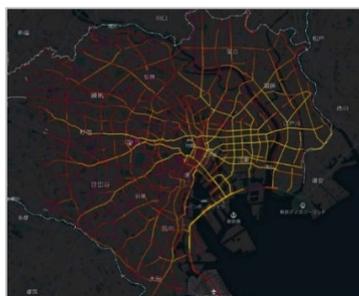
グルーヴノーツは、量子コンピュータ/AI/ビッグデータを手軽に利用できるクラウドプラットフォーム「MAGELLAN BLOCKS（マゼランブロックス）」を通じて、社会や企業が抱える課題解決に取り組んでいます。その中で、地域社会にある様々なデータを組み合わせ、先端テクノロジーを用いて解析を行い、都市の可視化を図る独自のサービス「City as a Service（シティ・アズ・ア・サービス、CaaS）」を提供しています。

GEOTRA では、GPS 位置情報と合成データ生成技術により、これまでの人流ビッグデータと比較し、詳細な人流分析やシミュレーション分析が可能な「GEOTRA Activity Data」を提供しています。

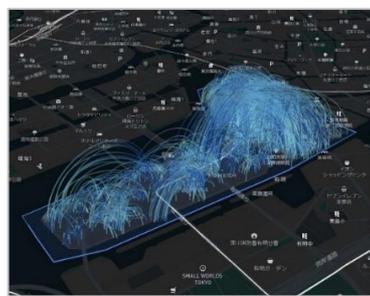
本開発では、グローブノーツ独自のデータ分析サービス「CaaS」に、清水建設のまちづくりのノウハウや地域ネットワーク、建物・街区レベルで収集したデータと、GEOTRAの「GEOTRA Activity Data」を掛け合わせ、交通・防災・観光の最適化に寄与するデータ分析プラットフォームを構築します。データ分析においては、国・自治体のオープンデータや学識者の助言も取り入れるなど産官学連携の取り組みにより、交通最適化、地域活性化、都市防災の高度化等の都市課題を総合的に解決し、全国の自治体と連携したまちづくりに活用していきます。



来訪者居住地分布



道路交通量の可視化



エリア内回遊状況の可視化



道路啓開シミュレーション



観光地来訪スポット分析



観光地来訪者 OD 調査

以上